

分類：臨床医学 III

授業科目名：麻酔（Anesthesia and Intensive Care Medicine）

対象学年：4年次必修

時間割コード：71633024

開設学期等：第11週～第12週

単位数：0.5

1. 主任教員

新山幸俊（教授、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6172、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

2. 担当教員

新山幸俊（教授、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6172、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

木村 哲（病院教授、医療安全管理部、6173、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

佐藤浩司（助教、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

山本夏子（助教、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

堀越雄太（助教、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

厨川千香（医員、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

鷓沼 篤（医員、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

嵯峨 卓（医員、麻酔・蘇生・疼痛管理学講座、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

関川綾乃（非常勤講師、秋田赤十字病院 麻酔科、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

越村裕美（非常勤講師、市立秋田総合病院 麻酔科、6175、オフィスアワー：8:30 - 17:00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

ねらい：全身麻酔，局所麻酔の基本を学ぶ．麻酔管理に必要な知識，技術は広く医療全般に有用であることを理解し，生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を獲得する（1-1～1-2，2-1～2-3，2-6～2-7，3-1～3-7，4-1～4-8，5-1～5-5，6-1～6-2）

概要：以下の項目を習得することを目標とする．

1. 麻酔の概念，種類，麻酔・手術に伴う生体反応を概説できる（3-1～3-7，2-1～2-8）
2. 吸入麻酔と静脈麻酔の種類，適応，禁忌，合併症を概説できる（3-1～3-2，4-1～4-4）
3. 筋弛緩薬の種類，適応，禁忌，合併症を概説できる（3-1～3-2，4-1～4-4）
4. 気管挿管を含む各種の気道確保法を概説できる（3-1～3-2，4-1～4-4）
5. 安全な麻酔のためのモニタリングの方法，重要な異常所見と対処法を概説できる（3-1～3-2，3-5，4-1～4-7）
6. 麻酔管理を安全に行うための呼吸・循環管理を概説できる（3-1～3-2，4-1～4-4）
7. 動脈血液ガス分析と酸塩基平衡について概説できる（3-1～3-2，4-1～4-4）
8. 周術期の輸液，輸血療法について概説できる（3-1～3-2，4-1～4-4）
9. 痛みの特徴とその対処法について概説できる（3-1～3-4，4-1～4-4，5-1～5-3）
10. 妊産婦の特性と麻酔管理について概説できる（3-1～3-4，4-1～4-4）
11. 無痛分娩について概説できる（3-1～3-4，4-1～4-4）
12. 小児の特性と麻酔管理について概説できる（3-1～3-4，4-1～4-4）
13. 患者の意識が消失し，意思疎通ができない環境において医師として必要な倫理，医療行動を学ぶ（1-1～1-2，2-1～2-8）
14. 麻酔関連の合併症が生じた場合の対応を医療安全の概念を踏まえて，概説できる（3-4～3-7，4-5～4-7）
15. 最近の麻酔および周術期管理に関するエビデンスやガイドラインについて概説できる（3-3，4-3）
16. 緩和医療について概説できる．（1-1～1-2，3-1～3-4，4-1～4-4）
17. 関連するプロフェッショナリズムを学ぶ（1-1～1-2，2-1～2-8）

4. 教科書・参考書

臨床麻酔科学書（中山書店）

標準麻酔科学 第7版（医学書院）

Miller's Anesthesia 9th edition（Elsevier）

5. 成績評価の方法

統一試験，客観試験，レポート，出席など

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

1. 事前に授業内容を教科書で予習し，授業後には理解できなかった点を復習してください．
2. 疑問点はいつでも担当教員に質問してください．
3. 講義資料は後日，当教室のHPに掲載する予定です．
4. こちらの都合で内容，日程が変更されることがあります．

| 講義内容・具体的到達目標・学修目標 | | | | | | |
|-------------------|--------------|--------|------|--|-------|-------------------------|
| | 開講月日 | 時限 | 授業形式 | 講義内容・具体的到達目標・学修目標 | 担当教員 | 場所 |
| 1 | 6月15日 (月) | 7-8時限 | 講義 | テーマ：オリエンテーション～麻酔学総論 学修目標 1. 麻酔とは何かを概説できる。 2. 麻酔にはどのような種類があるかを概説できる。 3. 麻酔・手術に伴う生体反応を概説できる。 | 新山 幸俊 | 附属病院 第二病棟 2 階多目的室 |
| 2 | 6月15日 (月) | 9-10時限 | 講義 | テーマ：麻酔科医の矜持 学修目標 1. 手術および周術期管理における麻酔科医の役割を概説できる。 2. 地域医療における麻酔科医の役割を概説できる。 3. 医師として必要な倫理、医療行動を概説できる。 | 新山 幸俊 | 附属病院 第二病棟 2 階多目的室 |
| 3 | 6月16日 (火) | 7-8時限 | 講義 | テーマ：全身麻酔薬と筋弛緩薬 学修目標 1. 静脈麻酔薬および吸入麻酔薬の種類、適応、禁忌、合併症を概説できる。 2. 筋弛緩薬の種類、適応、禁忌、合併症を概説できる。 | 堀越 雄太 | 附属病院 第二病棟 2 階多目的室 |
| 4 | 6月16日 (火) | 9-10時限 | 講義 | テーマ：神経ブロックとオピオイド 学修目標 1. 神経ブロックの特徴、適応、禁忌、合併症を概説できる。 2. オピオイドの特徴、適応、禁忌、合併症を概説できる。 | 山本 夏子 | 附属病院 第二病棟 2 階多目的室 |
| 5 | 6月18日 (木) | 7-8時限 | 講義 | テーマ：気道確保と呼吸管理 学修目標 1. 気管挿管を含む気道確保の意義、方法を概説できる。 2. 麻酔管理を安全に行うための呼吸管理を概説できる。 | 佐藤 浩司 | 附属病院 第二病棟 2 階多目的室 |
| 6 | 6月18日 (木) | 9-10時限 | 講義 | テーマ：モニタリングと循環管理 学修目標 1. 安全な麻酔のためのモニタリングの方法、重要な異常所見と対処法を概説できる。 2. 麻酔管理を安全に行うための循環管理を概説できる。 | 嵯峨 卓 | 附属病院 第二病棟 2 階多目的室 |
| 7 | 6月22日 (月) | 7-8時限 | 講義 | テーマ：妊産婦の麻酔管理と無痛分娩 学修目標 1. 妊産婦の生理学的特徴と（帝王切開の）麻酔管理を概説できる。 2. 無痛分娩について概説できる。 3. 無痛分娩における麻酔科医の立ち位置について概説できる。 | 厨川 千香 | 附属病院 第二病棟 2 階多目的室 |
| 8 | 6月22日 (月) | 9-10時限 | 講義 | テーマ：小児の麻酔管理 学修目標 1. 小児の生理学的特徴と麻酔管理を概説できる。 | 関川 綾乃 | 附属病院 第二病棟 2 階多目的室 |
| 9 | 6月23日 (火) | 7-8時限 | 講義 | テーマ：動脈血液ガス分析と酸塩基平衡 学修目標 1. 動脈血液ガス分析について概説できる。 2. 酸塩基平衡について概説できる。 | 木村 哲 | 附属病院 第二病棟 2 階多目的室 |

| 講義内容・具体的到達目標・学修目標 | | | | | | |
|-------------------|--------------|--------|------|--|-------|-------------------------|
| | 開講月日 | 時限 | 授業形式 | 講義内容・具体的到達目標・学修目標 | 担当教員 | 場所 |
| 10 | 6月23日 (火) | 9-10時限 | 講義 | テーマ：周術期の輸液、輸血療法 学修目標 1. 周術期の輸液，輸血療法の基本を概説できる． | 鵜沼 篤 | 附属病院 第二病棟 2 階多目的室 |
| 11 | 6月25日 (木) | 7-8時限 | 講義 | テーマ：緩和医療概論 学修目標 1. 緩和医療について概説できる． | 越村 裕美 | 附属病院 第二病棟 2 階多目的室 |
| 12 | 6月25日 (木) | 9-10時限 | 講義 | テーマ：ペインクリニック 学修目標 1. 急性痛の診断・治療について概説できる． 2. 慢性痛の診断・治療について概説できる． | 木村 哲 | 附属病院 第二病棟 2 階多目的室 |